



事業実績報告書

様式 2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-37	講座名	ごきそテクノカフェ
記載日	2023/3/25	団体名・企業名	名古屋工業大学ごきそ技術士会
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>コロナ禍の拡大を契機に、インターネット上でのオンライン会議を利用した地域を越えた人と人とのコミュニケーションを容易にしました。名古屋工業大学ごきそ技術士会ではこれまで対面とオンラインで実施してきた「ごきそテクノカフェ」をオンラインで継続し、脱炭素について市民と技術者が一緒に考える機会を持ちたいと考え、本講座を企画しました。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
ごきそテクノカフェ 2022年10月開始時の様子		ごきそテクノカフェ 2023年3月開始時の様子	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>2022年度後期の「ごきそテクノカフェ」は2022年度前期に引き続き、Zoomを利用したオンライン開催とした。これまでオンラインを継続してきた結果、名古屋近郊以外にも参加者の輪が広がった。一方で参加者からはJR鶴舞駅高架下商店街の喫茶サンデンでの対面開催の再開を望む声もあるため、2023年度前期からはできれば対面+オンラインという形態に移行したい(現状、鶴舞のサンデンからインターネット接続が技術的に難しいので、その対応方法は検討中)。今後も引き続き、脱炭素を切り口として市民が日常生活を送る上で直面している技術的な課題について、市民との対話の場を持ち続けて行きたい。2023年度後期以降は名古屋工業大学の先生にも講師をお願いして、参加者のご期待に応えるようにしたいと考えている。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
<p>カーボンニュートラルについて、詳しく説明いただき、よくわかりました。 脱炭素の日本政府の動向は理解したが、もう少し新しい提案が欲しかった。 学術的にも昨今の話題についてもどちらも知ることができた。 難しい内容を分かり易く説明頂きました。ありがとうございました世の中の先端技術を理解するには良い場でした。 幅広い話題であり、全てについて確実・具体的な回答無いので倫理と思考・予防原則に基づいて思考する態度が必要。個人が真剣に考える課題。</p>			